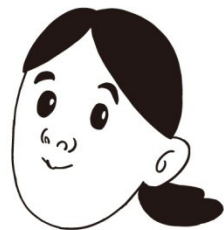


# みずま雪絵の 区議会レポート

NO.8 2015/11



〒125-0063 葛飾区白鳥3-25-7 コーポ坂上302

**TEL** 03-6662-7623

**FAX** 03-6662-7617

**e-mail** info@mizuma-yukie.org

**HP** <http://mizuma-yukie.org>

## 働く人が主役の社会を

葛飾区議会第3回定例会中の9月19日に安全保障関連法=戦争法が可決成立し、武器の輸入、購入、開発を一元的に担う防衛装備庁が発足しました。

葛飾区内でも廃案を訴えるデモ、集会、署名の取り組みが行われ、区議会にも廃案を求める意見書提出の請願が提出されるなど、安全保障関連法に対する危機感を行動で示す人が現れるのを目の当たりにしました。

区内での取り組みや国会前での抗議行動が多く行われましたが、国会や地方議会での議席の数の力を痛感させられました。しかし、現時点での政権の動きは、戦争法始め、沖縄県辺野古の自治体と国の攻防や、福島県を無視した原発再稼働・海外への輸出政策、労働者の生活を貧困化する危険がある労働関係法の改正推進等、まさに政策によって生まれる弱者を無視し、経済界・利権の声ばかりを反映する権力の暴走となってしまっています。

残念ながら、この社会、政治、政権をつくりだしているのも私たちです。これを変えていくということは、私たちの貧困と格差、心の中に潜む「今だけ」「自分だけ」の思考と闘い、弱者をつくらない社会を模索し、行動し続けることが出発点ではないかと思います。

労働者や利権を持たない普通の人が主役になる社会を共に作りましょう。

みずま雪絵



第3回定例会 主な議案	自民	公明	共産	政 鸞	民主	うめた	小林	みすま	村松
平成27年度葛飾区一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	×	○
葛飾区事務手数料条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	×	○
葛飾区個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	○	○	×	○	○	○	○	×	○
葛飾区教育資料館条例を廃止する条例	○	○	×	○	○	○	○	×	○
葛飾区児童館条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	×	○
葛飾区体育施設条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○
災害に際し応急措置の業務に従事した者等に係る損害補償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○

**共通番号制度(マイナンバー制度) は必要ない**

すでに厚労省職員と企業の汚職事件や、他の自治体では便乗した詐欺や不審電話等、問題が発生しているマイナンバー制度。

マイナンバー制度は国民の収入や資産を把握し、負担免れや不正受給を防ぐことを目的にし、「公平・公正な社会の実現」の社会基盤になるとしています。

しかし、経済界の要求通りに法人税減税を行い、消費税還付金制度のカラクリで大手輸出大企業はリーマンショック前の最高益の水準を回復しつつあり利益を貯めこんでいる一方、一般庶民・中小企業は消費税増税、国民には労働関係法の改正(改悪)、社会保障関係費の削減、給付条件の厳格化を行ない、生活・労働の閉塞感が増しています。

そのことは「不公平で不公正」な政策を推進していると言えないでしょうか。今後も消費税増税や社会保険料アップ等で苦しさを増す中小企業・国民の収入・課税等の監視を厳しくし、「不公平・不公正な社会」を助長する心配があります。

葛飾区としても、マイナンバー制度が及ぼす区民への影響を検証し、国へ問題を提示しなければならなかったはずですし、今からでも行なうべきです。

私はマイナンバー制度に関わる1億円以上の区の持出しが計上された葛飾区一般会計補正予算、制度に関わる事務手数料条例の一部を改正する条例、個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の3議案に反対しました。

## 葛飾区児童館条例の一部を改正する条例 【民営化に伴う問題 区への対応不十分】

新小岩児童館の廃止の条例です。老朽化による施設更新として新たに民営化し、地域ニーズが高い学童保育クラブ等子育て支援施設へ転用し、整備を行う予定です。

施設の老朽化、転用については地域のニーズと一定の理解があると判断し、異議はありませんでしたが、区の基本計画でもある民間活用推進に問題点があると感じます。

行政のコスト削減を目的とする民営化・外部委託は利潤を追求する民間事業者を入れるということです。そこで心配なのが、利潤追求と共に発生する人件費削減、労働強化等、働く人への影響です。

パワハラや低賃金等の労働問題は年々増えていますが、区はそれらに関わることに消極的です。現場を担う労働者が安定して働けてこそ、質の良いサービスが成り立つと考えます。民間ですが葛飾区の公共事業を行なう事業者です。葛飾区には、そこで働く人達の不安や問題に責任があると思うのです。

葛飾区はこういった問題に目を向け、無くす努力をするべきで、公契約条例制定やモニタリングの強化等やれることは有るはずですが、実際には行なわれていません。このまま民営化を進めることには賛成できないため、**葛飾区児童館条例の一部を改正する条例・葛飾区地域コミュニティ施設条例の一部を改正する条例**の議案に反対しました。

### 教育資料館 公開終了

教育資料館は関東大地震の翌々年に建築され、都内に残る唯一の木造校舎区の文化財に指定され、区民等から寄贈及び借用した学用品、教材、民具や生活用品、東京初空襲の際の機銃弾と弾痕等約1,400点を展示しています。

入館者数低下、維持管理費、耐震補強工事費等のコスト等を理由に耐震補強工事は行わず、今年度で公開を終了。倒壊防止を施し、建物はしばらく保存されます。(展示物は郷土と天文の博物館で保存・公開)

当時の様子が思い浮かぶ校舎内を見て回れることも、他の展示物と同じように重要な区の財産であると思い、耐震工事をして校舎内も見学し続けられるようにしてもらいたいと決算委員会で要望しましたが、賛成多数で可決しました。残念です。



教育資料館 内部の様子

## 決算審査

一般会計と4つの特別会計(国民健康保険事業・介護保険事業・後期高齢者医療事業・駐車場事業)が認定されました。一般会計歳入は消費増税による地方消費税交付金などの増で対前年度52億円増の1807億円。歳出も再開発事業、生活保護費等の増で42億円増の1722億円となっています。予算や補正予算の審査では、予算付け内容に対し反対をしてきました。決算審査では予算の執行に対して概ね問題ないと判断し、賛成しました。会派の意見として主に以下のことを区に上げました。

★介護サービス事業者合同説明会の継続、介護人材スキルアップ研修で人材定着を図ろうとしていることは評価。それらと同時に介護労働者の離職を防ぐ対策を。

★がん対策事業経費・頸がん予防接種については、副作用の問題があるので接種中止の検討も含めて区の慎重な姿勢を求める。

★行財政改革における、むやみな人件費削減や民営化の推進は避けるべき。区が自ら低賃金・不安定雇用をつくることになる。



請願審査	自民	公明	共産	政鸞	民主	うめた	小林	みずま	村松
「安全保障関連法案の廃案を求める意見書」の提出に関する請願	×	×	○	×	○	○	×	○	×
国に対し「安全保障関連法案を徹底審議し、今国会で採択しないことを求める意見書」の提出を求める請願	×	×	○	×	○	○	×	○	×
所得税法第56条の廃止を求める請願	×	×	○	○	×	○	○	○	×

第2回定例会に続き、安全保障関連法に関わる意見書提出の請願が提出されました。「区議会議員がこれを話し合うことは、どうなのか」と意見を述べていた議員もいましたが、区民から出された請願に対し、採択・不採択の判断をしますので、安全保障関連法に対する議員個人としての意見を述べ議論し、チラシやHP等で主張を述べることは必要だと思います。

区政・生活・労働等相談・ご意見をお待ちしております。

TEL・FAX・メールでお寄せ下さい。